

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成31年1月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

3日に男女岳おなめだけの北東約4km付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、その他の火山活動に特段の変化は認められません。

男女岳山頂付近では、2017年8月以降、火山性地震がわずかに増加する傾向が認められています。また、女岳めだけでは地熱活動及び噴気活動が続いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、女岳からの噴気の高さは、13日に一時的に100mを観測しましたが、その他の期間は30m以下で経過しました。

#### ・地震や微動の発生状況（図2-②～⑤、図3）

3日に男女岳の北東約4km付近を震源とする火山性地震が一時的に増加し、日回数は27回となりました。それ以外の期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動及び低周波地震<sup>1)</sup>は観測されませんでした。

男女岳山頂付近では、2017年8月以降、火山性地震がわずかに増加する傾向が認められています。

#### ・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

- 1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。



図1 秋田駒ヶ岳 女岳周辺の噴気の状況（1月13日08時18分頃）

- ・仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による映像です。
- ・赤丸で囲んだ部分が、女岳からの噴気で噴気の高さは100mです。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成31年2月分）は平成31年3月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

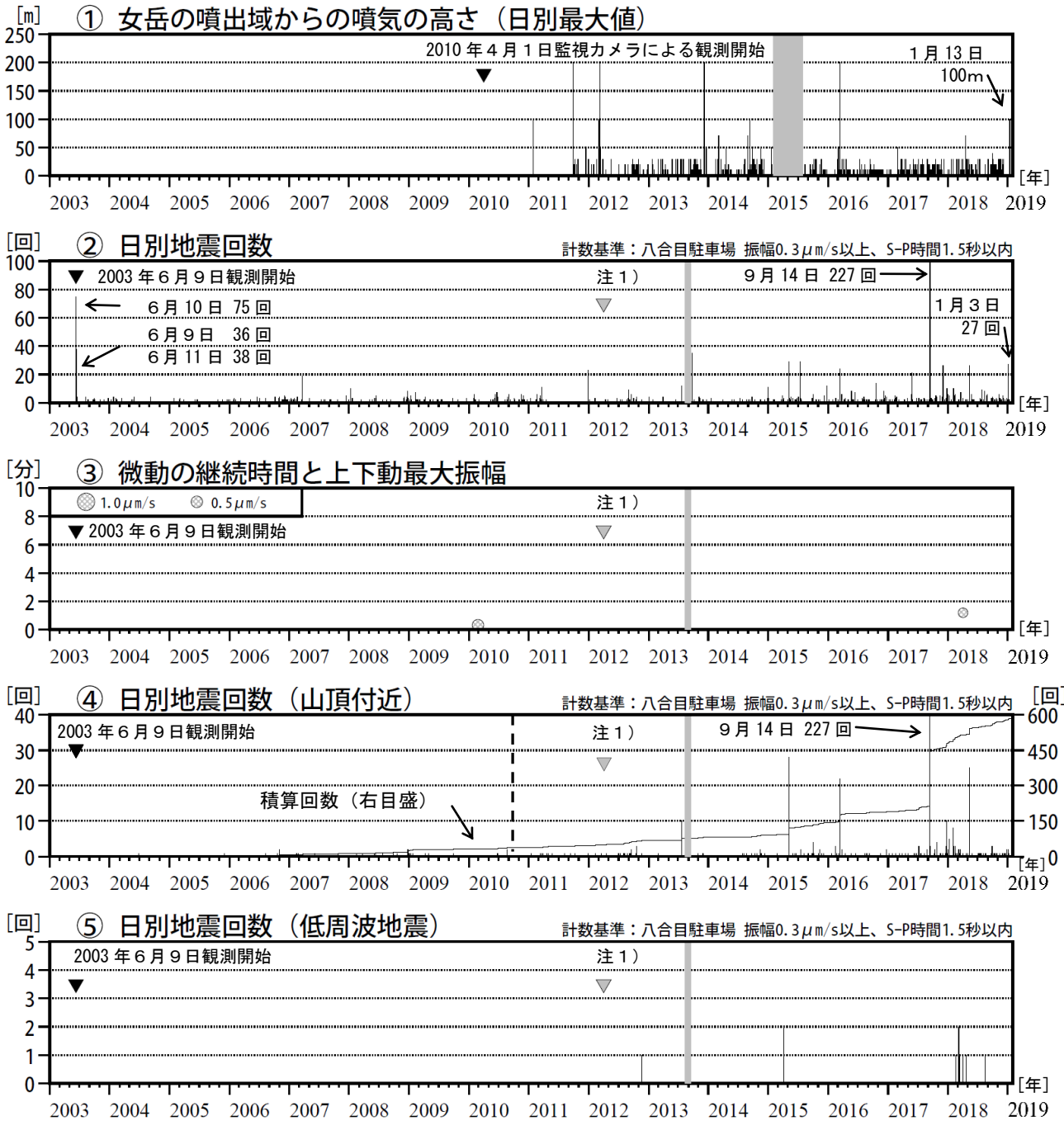


図 2 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図（2003 年 6 月～2019 年 1 月）

- ・①仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による観測です。
- ・①～⑤の灰色部分は欠測を表しています。
- ・④は計数基準を満たす火山性地震のうち、山頂付近で発生したと推定されるものの回数で、2010 年 10 月の八合目駐車場観測点運用開始（グラフ中の破線）以降は、概ね判別できていると考えられます。

注 1）観測開始の 2003 年 6 月 9 日から東北大学秋田駒ヶ岳観測点を基準としていましたが、2012 年 4 月 1 日から八合目駐車場観測点を基準としています。

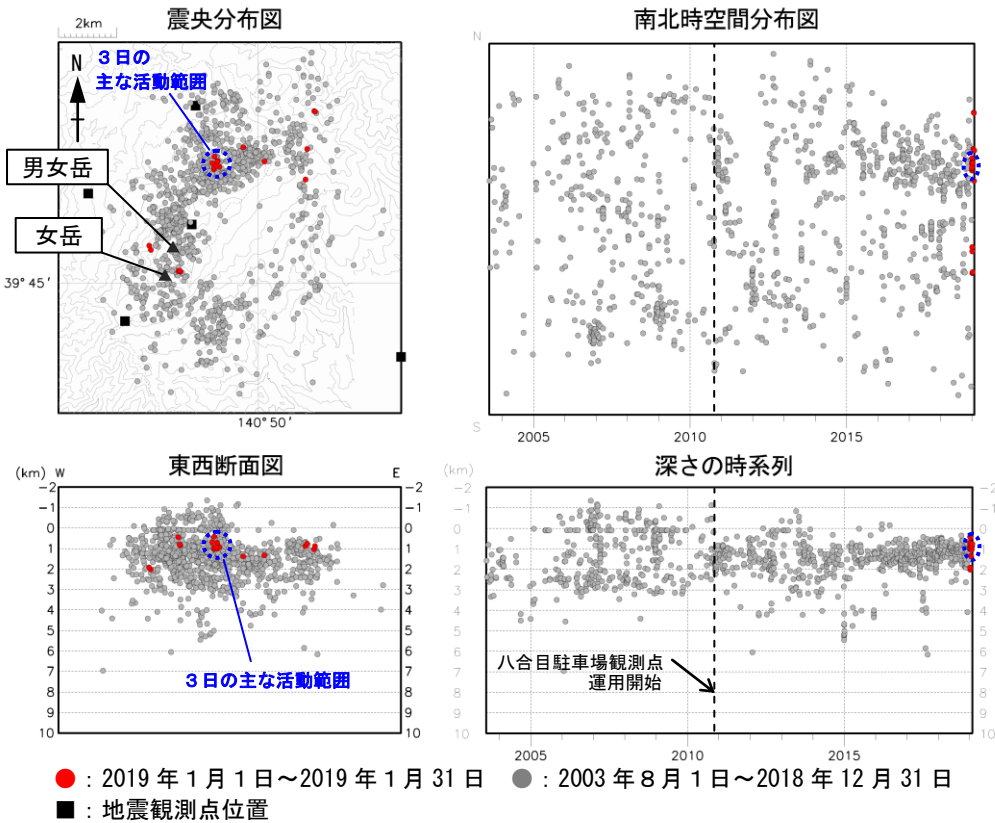


図3 秋田駒ヶ岳 地震活動（2003年8月～2019年1月）

- ・ 3日に男女岳山頂の北東約4km付近を震源とする火山性地震が一時的に増加し、日回数は27回となりました。それ以外の期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。
- ・ 2010年10月7日以降、八合目駐車場観測点の運用開始に伴う影響がみられます。

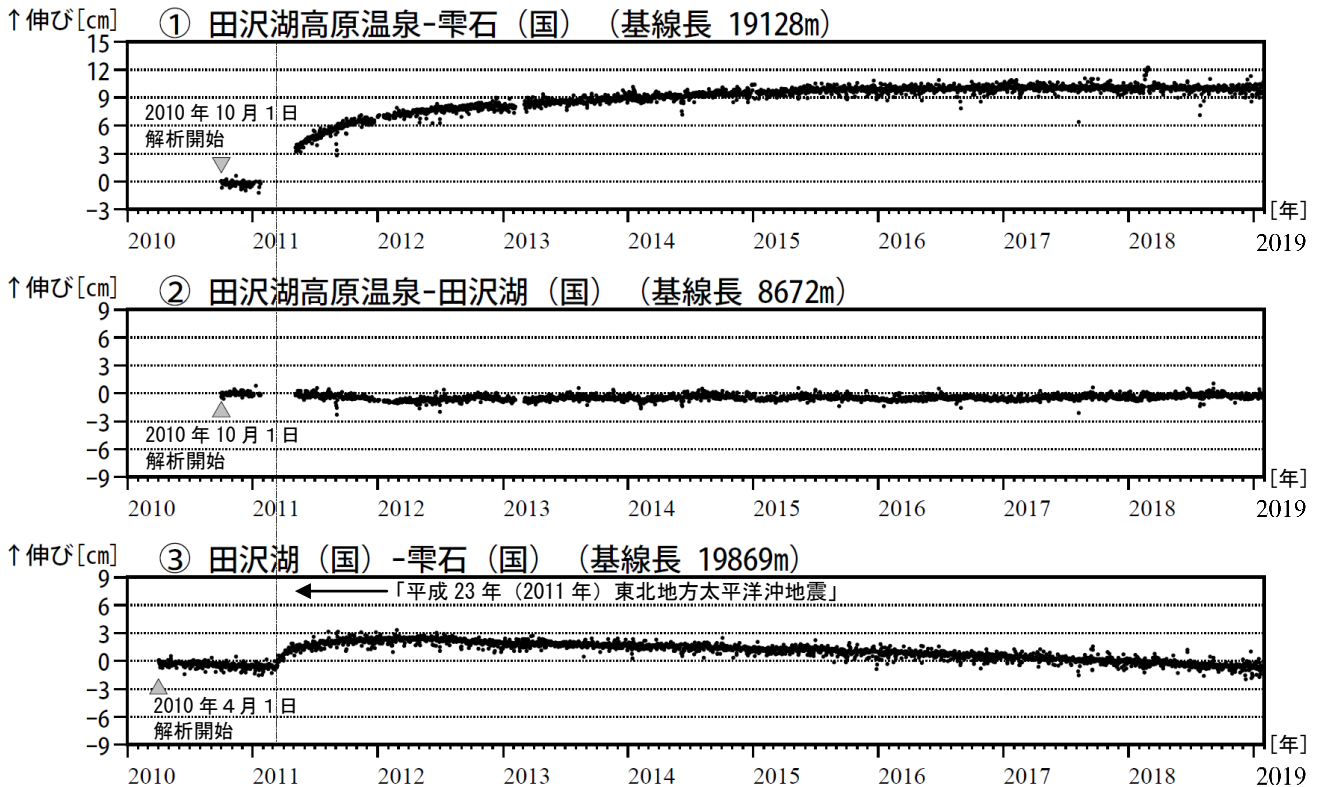


図4 秋田駒ヶ岳 GNSS<sup>2)</sup> 基線長変化図（2010年4月～2019年1月）

- ・ 「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・ ①～③は図6のGNSS基線①～③に対応しています。
  - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・ (国)は国土院の観測点を示します。
- 2) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。



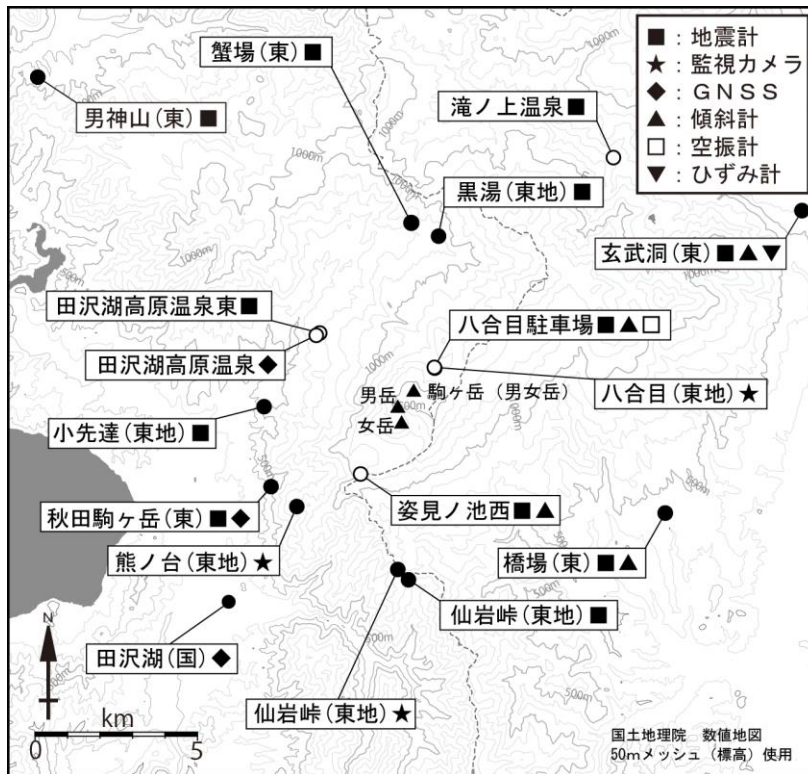


図5 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （国）：国土地理院 （東）：東北大学

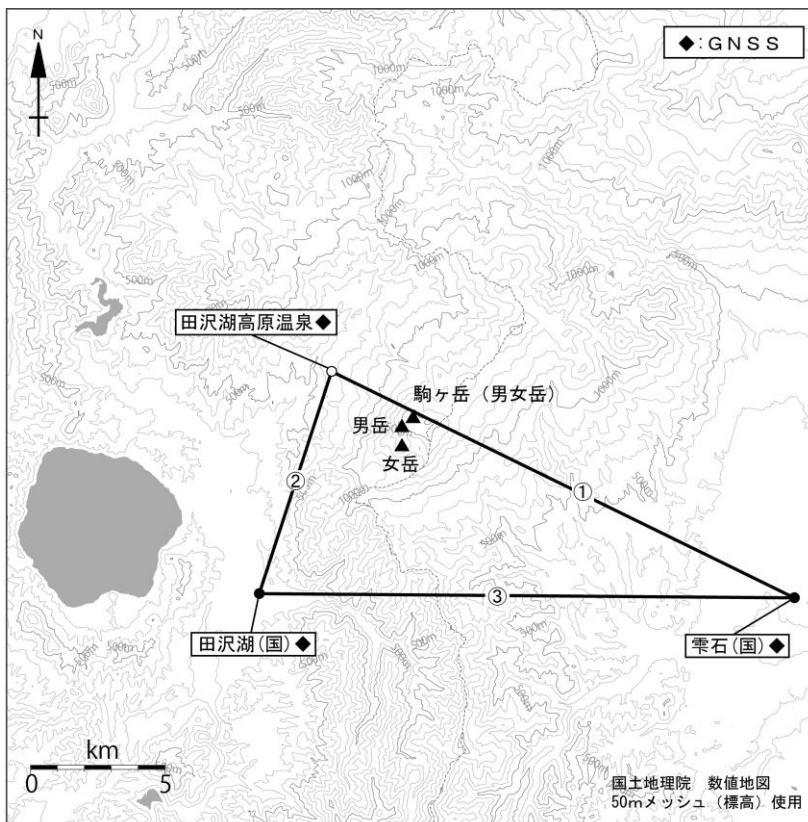


図6 秋田駒ヶ岳 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。

（国）：国土地理院